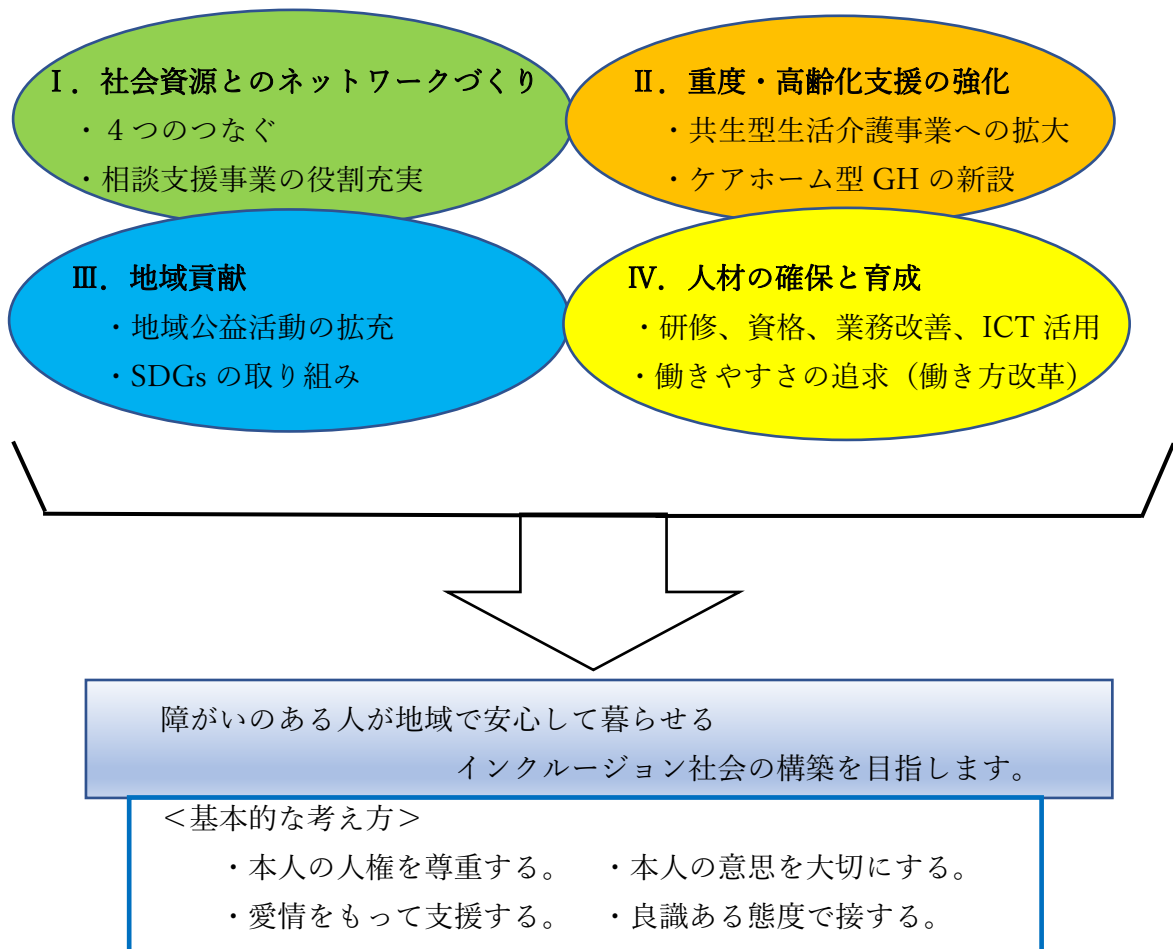


社会福祉法人長崎市手をつなぐ育成会  
第5次育成会地域福祉5か年計画の全体像  
(令和5年4月～令和10年3月)

社会福祉法人長崎市手をつなぐ育成会の使命（社会的責任）

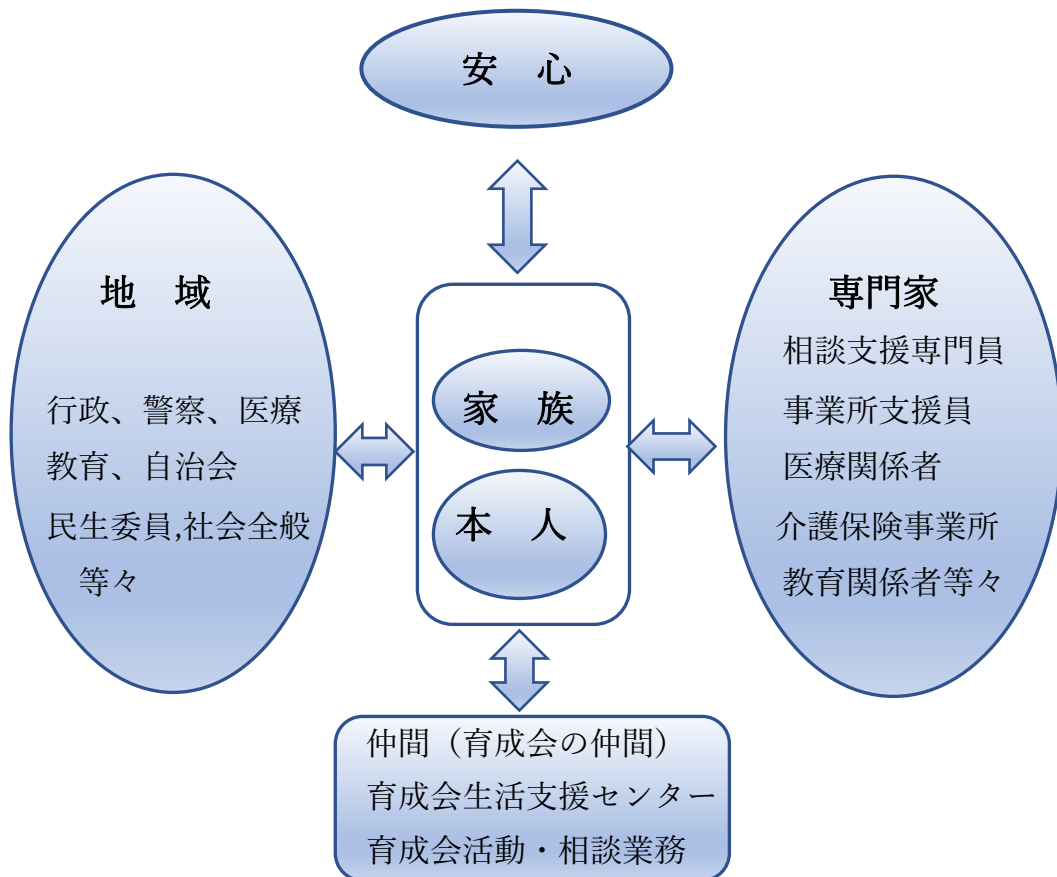
- ① これからもニーズに沿った福祉サービスを提供します。
- ② 制度の狭間にあるものを含め地域の様々な福祉ニーズにきめ細かく対応します。



## I. 社会資源とのネットワークづくり

### 4つのつながりのイメージ図

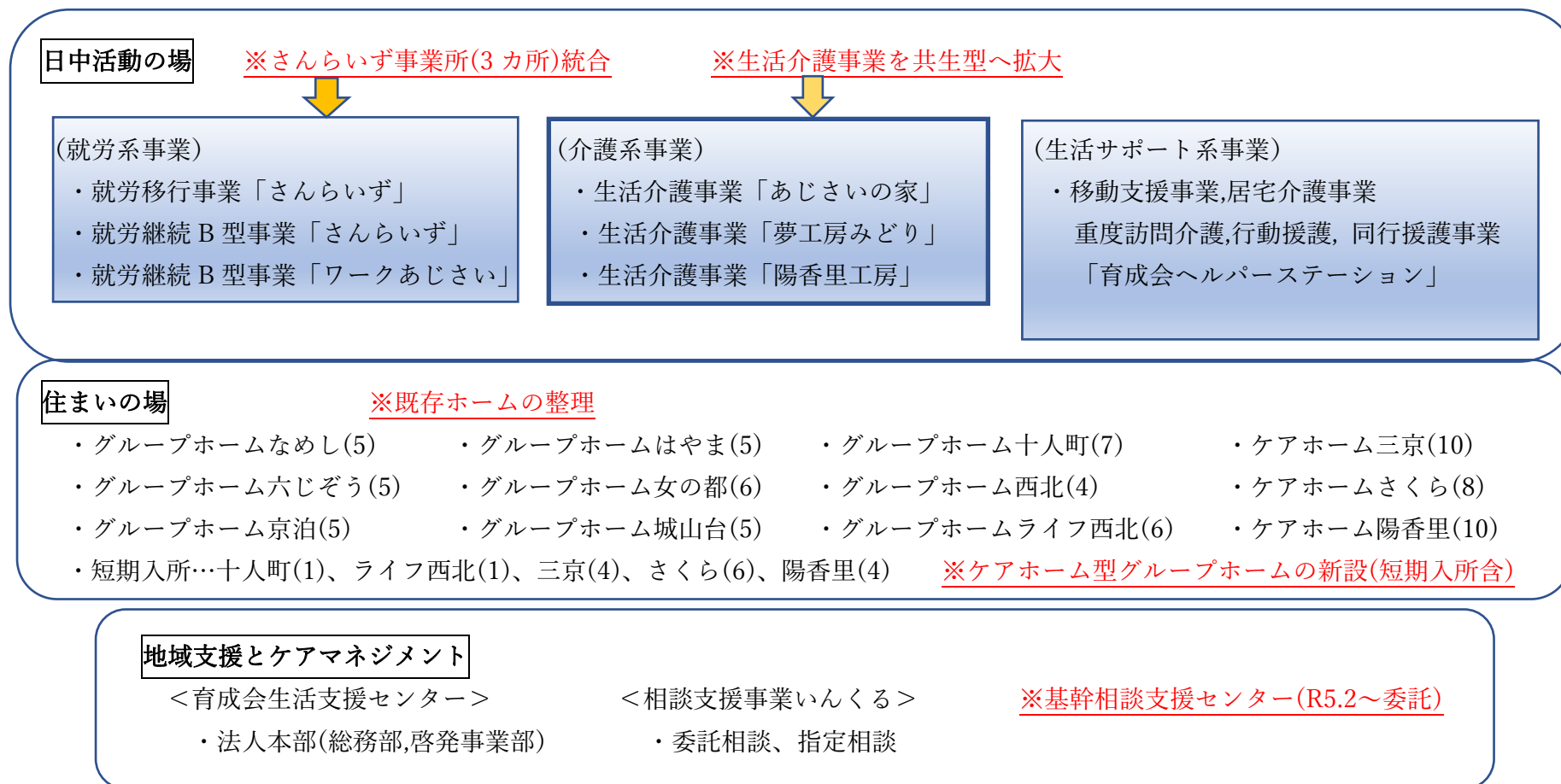
○地域とつながる ○仲間とつながる ○専門家とつながる ○安心とつながる



育成会活動は変わらず推進していき、相談支援事業いんくるを中心とした、“安定した情報提供”、“本人のニーズ優先アプローチ”、“社会資源の活用”、“法人内事業所との連携”などを通して、地域と連携することで“4つのつながり”を実現していく。(第4次計画からの継続)

## II. 重度・高齢化支援の強化

### 長崎市手をつなぐ育成会事業概念図



### Ⅲ. 地域貢献

平成 28 年改正社会福祉法において、社会福祉法人の公益性・非営利性を踏まえて、法人が創意工夫をこらした多様な“地域における公益的な取り組み”を積極的に提供しなければならなくなった。長崎市育成会も制度の狭間にあるものを含め、地域の様々なニーズに対応していくことが望まれるようになった。

また、世界的に取り組んでいる SDG s についても、地域貢献の視点で育成会活動に密接に関係している。

#### 地域公益活動の拡充

- 理解啓発活動（長崎よかよか隊の拡充、情報提供）
- 地域交流（行事、地域清掃、自治会活動、実習生受入れ等）
- 地域サービス（一般相談、生活ヘルプ事業）

#### SDGs の取り組み

- インクルージョン
- ダイバーシティ
- カーボンニュートラル

### Ⅳ. 人材の確保と育成

障害者福祉の分野でも人材不足は以前から言われてきたが、コロナ禍に入りさらに人材不足が切実な問題となっている。また、研修や業務改善、ICT の活用、さらに働きやすさを追求することで、人材不足の解消や職員の支援の質の向上に繋がっていくことを目指す。

- 人材確保
- 研修
- 資格取得
- 業務改善
- ICT 活用
- 働きやすさの追求